

日本繊維機械学会 第25回秋季セミナー 「せんいが拓く未来」

日本繊維機械学会では、産学官の繊維に関わる方々を対象に、最新情報の収集ならびに意見交換の場となることを目的として、毎年11月に秋季セミナーを開催しております。第25回となる今回は来る11月15日(木)、16日(金)の両日、大阪市の大阪大学中之島センターで開催いたします。

今回は「せんいが拓く未来」をメインテーマにしました。繊維製品は古くから時代のニーズに応えたイノベーションが生まれることで、広く人々の生活を豊かにしてきました。その一方、繊維製品も他の製品と同様に、人々の豊かさに比例して地球環境への負荷を大きくしていることが近年問題になっています。その理由は製造や輸送に大量のエネルギーが必要となるためです。我々は自らの活動基盤となる地球環境を蝕みつつ、その活動を永く続けることはできません。

このようなことから、未来の繊維は、モノとしての価値だけでなく、地球環境への負荷削減という使命がますます求められていくと思われまます。そして、それに応えるイノベーションを起こす企業や団体が、今後は生き残っていけないのではないのでしょうか。

特別講演では、永きにわたりこのような取り組みを実践されている倉敷紡績様のご講演や、現在全世界で展開中のSDGs「持続可能な開発目標」について科学技術振興機構様のご講演を企画しました。すでに多くの企業や団体が環境負荷という視点を含めた様々な課題に取り組み、人々の生活の豊かさを目指したイノベーションが生まれつつあります。

テーマ別講演では、これらのホットなテーマについて、関係分野の第一人者によるご講演を企画しました。また、本セミナーの役割には繊維技術交流をより積極的に進めることがあります。その役割に資するために、今回も、全国の公的試験機関の研究開発成果発表について、機器展示・ポスター展示を行います。

本セミナーが、今後のものづくりの方向性を考え、議論する場になれば幸いです。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

期 日 平成30年11月15日(木)、16日(金)

会 場 大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島4-3-53)

<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

内 容 予定

第1日目【11月15日(木) 午後】

10階 佐治敬三メモリアルホール	
12:50	開会の辞 第25回秋季セミナー実行委員会委員長, TMT マシナリー(株) 杉山研志
12:55	挨拶 (一社)日本繊維機械学会会長, 京都工芸繊維大学教授 鋤柄佐千子
13:00~14:00	特別講演(1) 「SDGsと科学技術イノベーション」 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 理事 白木澤佳子 国連が採択した「持続可能な開発目標(SDGs)」について様々なところで見たり聞いたりする機会が増えていますが、2030年までの達成を目指して、自分は何ができるのかと悩まれている方も多いと思います。今年の4月に「持続可能な社会推進室」を立ち上げたJSTの取り組み等をご紹介します。皆さんと考えたいと思います。
14:10~15:10	繊維関連公設試によるショートプレゼンテーション
15:20~16:20	特別講演(2) 「研究・開発で未来を切り拓く」 倉敷紡績株式会社 常務執行役員 技術研究所長 八木克眞 当社は、今年、創立130年を迎えました。そこで、創業から今までを簡単に振り返り、技術研究所が果たしてきた役割と、現在の研究所の活動をご紹介します。また、未来に向かってわが国が推進しているSociety5.0の実現や第4次産業革命の中で、「研究・開発の運営をどのように変え、若い研究員を育てて行くか」、これをテーマにして、今後の取り組みをご紹介します。
16:30~17:20	繊維関連公設試によるポスターセッション (7F 講義室 703)
17:20~18:50	交流会 (会場: 2F カフェレストランスコラ)

第2日目【11月16日(金)】

	A会場 (7階 講義室 703)	B会場 (7階 講義室 702)
	繊維機械と価値創造	みらいを纏う
10:00 }	日本繊維機械学会技術賞受賞講演 「自動ワインダーにおけるサーボ制御を用いた高速トラバース機構の開発」 村田機械(株) 繊維機械事業部 技術部 先行開発 課長 梅原嘉人	「ウェアラブルエレクトロニクスの国際標準化」 東洋紡(株) 総合研究所 主幹 IEC/TC124 国内審議委員会 幹事長 前田郷司
10:45	従来のドラム機構は糸の綾振りとドラムとの摩擦でパッケージを駆動させる合理的なシステムでした。新方式のトラバース機構はパッケージ駆動と糸の綾振りの2つの独立させた装置をサーボ制御にて高速稼働することで更に高精度且つ自由度の高い巻きを実現しています。本講演ではその特長と技術内容について紹介します。	国際標準化の意義を成功例、失敗例を用いて解説し、次いでウェアラブルエレクトロニクス分野に関する標準化活動、ならびに、伸縮性導体シートCOCOMI®を用いた衣服型の心電測定デバイスを例にして、ウェアラブルエレクトロニクスの標準化における課題について述べる。最後に日本における国際標準化への対応状況について紹介します。
10:55 }	「四軸 織物『Tetras』の開発と実用化」 明大(株) 代表取締役 小河原敏嗣	「導電繊維と高周波回路で実現するウェアラブルネットワーク」 南山大学 理工学部 機械電子制御工学科 准教授 野田聡人
11:40	1. 明大株式会社が取り組んできたこと 2. 四軸織物自動織機の開発経緯 3. 四軸織物の特徴 4. 四軸織物の基本設計 5. 四軸織物の用途展開 6. 四軸織物の展望 7. 明大株式会社が現在取り組んでいること	「ウェアラブルデバイス」と言えば、今のところ時計型や眼鏡型といったアクセサリのような形態のものがほとんどです。衣服の形をした「着られるデバイス」の実装には、衣服に分散したコンポーネントへの給電とそれらの間の通信が課題となります。この実装方法の一例とその応用可能性について紹介します。
11:50 }	「エネルギー原単位ナンバーワンの染工場をめざした全社の取り組み」 オザワ織工(株) 代表取締役 小澤俊夫	「ウェアラブルLED ダンスパフォーマンスシステム」 mplusplus(株) 代表取締役社長 藤本 実
12:35	平成29年度省エネ大賞「経済産業大臣賞」受賞の事例。愛知県一宮市に立地する従業員85人の糸染色工場において、全員参加による徹底した省エネルギー活動を展開。独自アイデアによる40テーマの省エネ改善を実行して3年間で約30%の省エネルギーを達成。生産量を維持しつつ第一種指定工場から第二種への移行を実現した事例を紹介します。	2007年に神戸ルミナリエでのパフォーマンス用に衣装にLEDを取り付けてから11年。LED制御の進化、無線技術・マイコンの進化に伴って衣装としての表現力、動きやすさなどが大きく変化してきました。パフォーマンスの実例をもとにLED衣装の進化をお見せします。
	昼食 (12:35 ~ 13:40)	
	A会場 (7階 講義室 703)	B会場 (7階 講義室 702)
	生活を豊かにする機能繊維	アパレルがつくるやさしい未来
13:40 }	日本繊維機械学会技術賞受賞講演 「環境に優しい高耐久防汚加工技術」 東(株) テキスタイル・機能資材開発センター 第1開発室 竹下将太	「子どもたちの体力から考える現状とこれから」 京都教育大学 体育学科 准教授 小山宏之
14:25	本講演では、弊社独自の繊維ナノスケール加工技術を駆使し、布帛に対して汚れがつきにくくする性能(SG性)と、汚れを落としやすくする性能(SR性)を極限まで高めた環境に優しい高耐久防汚加工に関する技術開発概要と、本防汚加工技術を適用した商品群の展開状況について報告します。	近年の子どもたちの走・跳・投といった基礎的な運動能力や筋力は昭和60年頃をピークに下降を続けている。さらに、自分の体をコントロールできない、動きが不器用など、体を巧みに動かす能力の低下は子どもの怪我の発生率とも関連し、この30年間で骨折件数は1.7倍に増加しているという報告もある。 講演では子どもの体力問題を中心に子どもたちの現状について考えていきたい。
14:35 }	「温度調整機能を有する新規樹脂開発、および繊維への応用」 住友化学(株) 先端材料開発研究所 機能材料開発グループ 主席研究員 小田精二	「マッスルスーツをはじめとするウェアラブルロボットによる生活支援」 東京理科大学 教授、㈱イノフィス 取締役 CTO 小林 宏
15:20	近年高まりを見せている、更なる生活の質向上、特に生活環境の快適性向上のニーズに応えるべく機能繊維開発が進んでいる。当社は、快適性への影響が大きいとされる環境温度変化に対して樹脂自体の吸放熱により温度調整する新しい樹脂を開発した。本講演では、該樹脂の特徴、および該樹脂を用いた繊維の機能評価結果を報告します。	腰補助用マッスルスーツは、2018年3月時点で出荷台数3,300台を越え、肉体労働のあらゆる現場で使われ始めている。ユーザの声を受け、様々な改良と開発を行っている。その現状を報告する。また、創業理念である「生きている限り自立した生活」を実現するために開発している、障がい者の自立支援機器等も紹介します。
15:30 }	「セルロースナノファイバーの構造・特性と応用展開」 東京大学 大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 教授 磯貝 明	「身体障害者のための共創的衣服作製の取り組みとしてのバーチャル着装アプリ開発」 産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 人間情報研究部門 一刈良介
16:15	再生産可能な木質バイオマスを原料として調製される新規バイオ系ナノ素材であるセルロースナノファイバー(CNF)について、その多様な製造方法と特異的な構造・特性・分析・評価方法等を紹介し、CNFを先端および汎用部材に利用する際に期待される機能と課題、研究開発動向について国内外の事例に基づいて説明します。	車いす利用者は、試着の困難さや体形・運動機能に起因する個別事情など衣服に関する多くの問題を抱えている。車いす利用者に負担をかけない試着結果の確認と体形計測を可能にするバーチャル着装アプリを開発している。今後、ポータルを通じてアプリを配布し、体形データと型紙データを収集する共創的衣服作製に取り組んでいく。
16:15	閉会の挨拶	

協賛 大阪染色協会, カケンテストセンター, 関西ファッション連合, 機能紙研究会, 高分子学会, 繊維製品技術研究会, 繊維評価技術協議会, 富山県繊維協会, 日本麻紡績協会, 日本衣料管理協会, 日本化学繊維協会, 日本家政学会, 日本感性工学会, 日本毛織物等工業組合連合会, 日本材料学会, 日本産業皮膚衛生協会, 日本繊維機械協会, 日本繊維技術士センター, 日本繊維製品品質技術センター, 日本ニット工業組合連合会, 日本縫製機械工業会, 日本羊毛産業協会, 福井県繊維協会, プラスチック成形加工学会, ボーケン品質評価機構

参加費 会員 22,000 円, 非会員 30,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円, 特定会員 (65 歳以上の正会員) 8,000 円 (税別)

申込 「第 25 回秋季セミナー」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加 (参加無料) の有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP の秋季セミナー頁より WEB 申込ができます。

申込先 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

第 25 回秋季セミナー 繊維技術交流研究試作品・指導作品・研究成果及びポスター募集

第 25 回秋季セミナーでは, ものづくりの潮流 ~価値創造の進路を求めて~をテーマに開催いたしますが, 繊維技術交流として全国の繊維関連公設試験研究機関や産地の企業の新技術開拓, 新製品開発及び技術改善等の研究成果・試作品及びポスターを募集いたします。公設試験研究機関, 産地の中小企業およびコラボレーションによる作品をお待ちしております。

日時 2018 年 11 月 15 日(木)

会場 大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島 4-3-53)

内容

- (1) ショートプレゼンテーション
- (2) 作品およびポスターの前にて参加者と交流

ショートプレゼンテーション

1 件 約 4 分のプレゼンを行います。

作品およびポスター発表(交流)

ポスターの前にて参加者と交流

定数 16 件 (定数になり次第締め切らせて頂きます)

その他 詳細は学会 HP をご参照下さい。

企業心理と消費者心理研究会 第17回公開講座

企業心理と消費者心理研究会では、下記の内容にて第17回公開講座を開催します。今年のキーワードは動物愛護、ペット、ペット市場です。参加料は無料です。多数のご参加をお待ち申し上げます。

期 日 2018年10月26日(金) 9.30~11.00 (受付9時20分~)

会 場 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス B号館 2F211 (神戸市中央区港島1-1-3)

JR三宮、阪急三宮駅・阪神三宮駅よりポートライナーに乗り換え、みなとじま下車(乗車時間8分:三宮から4つ目)徒歩約6分。

内 容

9.30~9.35 開会の挨拶・講師紹介・司会

..... 神戸学院大学 辻 幸恵

9.35~9.55

「周辺地域と連携した、動物愛護/飼養に対する、リテラシ/モラル向上のためのサービス創造」

..... (株)ヒューマンスピリッツ S&R 事業部 部長 森下大和

9.55~10.55

「ペットをめぐる現状と課題」

..... 兵庫県動物愛護センター 事業課長 犬伏 源

10.55~11.00 質疑応答

11.00~11.15 移動と休憩

11.15~12.45 ジョリポーでのランチミーティング

注) ジョリポー神戸ポートピアホテルが運営しています

問合先 企業心理と消費者心理研究会委員長 神戸学院大学 経営学部 辻 幸恵

E-mail: yukie213@ba.kobegakuin.ac.jp

電話: 090-4766-4513, FAX: 078-871-1121

スマートテキスタイル研究会 (第14回) 共催行事 講演会「スマートテキスタイルの最近の動向」

期 日 2018年10月26日(金) 13.30~17.00

会 場 福井大学産学官連携本部3階研修室(福井市文京3-9-1)

主 催 NPO 繊維技術活性化協会

共 催 スマートテキスタイル研究会

スマートテキスタイル研究会は、繊維系3学会(繊維学会, 日本繊維機械学会, 日本繊維製品消費科学会)で共同運営しています。

内 容

13.30~14.30

「福井県工業技術センターでのe-テキスタイルの取り組み」

..... 福井県工業技術センター 研究員 辻 亮宏

14.30~16.30

「スマートテキスタイルの要素技術と世界の開発動向」

..... 福井大学 産学官連携本部 客員教授, NPO 法人繊維技術活性化協会 理事長 堀 照夫

16.30~17.00 質疑応答

参加費 スマートテキスタイル研究会会員5,000円, NPO 繊維技術活性化協会会員5,000円, 一般7,000円

申 込 「講演会スマートテキスタイルの最近の動向」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス)を記入の上, FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 NPO 法人繊維技術活性化協会 事務局 堀・渡辺

TEL&FAX: 0776-27-8641, E-mail: info@npo-taa.org

講習会「ベテラン技術者と学ぶテキスタイル基礎講座」

テキスタイルに関わる技術は日々進展を遂げています。その一方、それらに係る基礎知識や技術を実際の製造工程に即して学ぶ機会は少ないのではないのでしょうか。そこで、各分野で実務に携わってきた本学会のフェローを講師として迎え、繊維材料からテキスタイルに加工しその廃棄を考える段階までの基礎的知識について学ぶ講習会を企画いたしました。

繊維関連分野の基礎的知識について学習したい若手技術者の方、また5月に開催したテキスタイルカレッジ「2日で学ぶせんいと布づくり」に参加できなかった方などを対象に、繊維素材からテキスタイル製造までの基礎を1日で学ぶことのできる欲張りな講習会です。また、長年各分野の先端技術を開発してきた経験豊かな講師ですので、当日は様々な悩みや疑問にも対応していただけます。是非奮ってご参加ください。

期 日 2018年10月31日(金) 9.30~16.50

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

講 師 日本繊維機械学会フェロー

内 容

- (1) はじめに (9.30~10.00)
..... 元織研新聞 松下 義弘
- (2) 糸づくり (10.00~11.00)
..... 元日本スピンドル製造 中村 信
- (3) 織物 (11.10~12.00)
..... 元京都市産業技術研究所 八田 誠治
- (4) 編物 (13.00~13.50)
..... 元福原精機製作所 武内 俊次
- (5) 染色加工 (14.00~14.50)
..... 元大阪染工 神野友香子
- (6) 不織布 (15.00~15.50)
..... 元ニッポン高度紙工業 六田 克俊
- (7) 環境とリサイクル (16.00~16.50)
..... 京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫

共 催 日本繊維機械学会企画委員会, フェロー会

定 員 40名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 23,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 2,000円 (税別)

申 込 「講習会ベテラン技術者と学ぶテキスタイル基礎講座」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別を記入の上, FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

ナノファイバー研究会(第28回)研究例会

期 日 2018年11月28日(水) 13.00～17.00

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

13.00～14.00

(1) 「メルトブロー技術を用いたナノファイバー作製の基礎とそのファイバーの性能評価」

..... 同志社大学 理工学部 機械システム工学科 教授 廣垣 俊樹

14.10～15.10

(2) 「メルトブローの基礎とナノファイバーの開発動向」

..... 高知県紙産業技術センター 客員研究員 六田 克俊

15.20～15.50

(3) 「ラボ用紡糸装置」

..... (株)ムサシノキカイ 関西営業部 名古屋事業所 花村 将志

15.55～16.25

(4) 「極細メルトブローン ディフューザーの開発」

..... (株)化繊ノズル製作所 技術サービス部 係長 後藤 雅宏

16.25～17.00

(5) ディスカッション

17.15～18.45

(6) 交流会

共 催 不織布研究会 (第72回研究例会)

定 員 40名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 ナノファイバー研究会または不織布研究会メンバー無料 (研究会法人メンバーは複数名参加可能), 会員12,000円, 非会員20,000円, 学生会員無料, 学生非会員2,000円 (税別), 交流会参加費別途5,000円 (税別)

申 込 「ナノファイバー研究会 (第28回) 研究例会」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加有無を記入の上, FAX または E-mail にてお申し込み下さい. 学会 HP より参加申込書のダウンロードができます.

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

講演会「スポーツ用補助具の現状と未来」

スポーツと用具は互いに不可欠な関係にあります。この用具を使う側と作る側が相互に連携し、スポーツは時を経るごとに進化し、洗練され、見る側をも魅了してきました。そして今や進化した用具は従来のスポーツの枠を越え、パラリンピックやさらには超人スポーツといった新領域のスポーツを生んでいます。これら新領域のスポーツは競技者の身体能力の障壁を下げ、誰もが同じフィールドでスポーツを楽しめる点が特徴です。そのため従来のスポーツよりも将来は裾野の広い市場となり、繊維業界がファッションや素材の面で新規ビジネスを展開できるものと期待します。本セミナーではこれらのスポーツ分野の第一人者に現在の取り組みとその将来についてご講演をいただきます。この分野にご興味をお持ちの方、イノベーションを模索されている方は、是非ご参加くださいますようお願いしております。

期 日 2019年1月10日(木) 10.00~15.55

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

10.00~11.00

(1) 「障がい者スポーツの歴史と工学による貢献」

..... 川村義肢(株) 技術推進部 K-Tech 主席技師 松田 靖史

11.10~12.10

(2) 「アスリート向け競技用義足の開発」

..... (株)今仙技術研究所 技術部 技術2課 義肢装具士 浜田 篤至

13.10~14.40

(3) 基調講演「超人スポーツを創る」

..... 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 稲見 昌彦

14.55~15.55

(4) 「補助具によるスポーツ体験の拡張(仮)」

..... 広島大学 大学院工学研究科 生体システム論研究室 教授 栗田 雄一

定 員 40名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 25,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 2,000円 (税別)

申 込 「講演会スポーツ用補助具の現状と未来」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

講演会「ITMA ASIA+CITME 2018(上海)視察報告」

中国最大の繊維機械展とされる「中国国際繊維機械展示会」(CITME)と「国際繊維機械見本市アジア展示会」(ITMA ASIA)が2018年10月15日～19日の日程で上海にて開催されます。

アジア地区の最新動向を知ることは、これからのアジア地区の戦略を練る意味でも重要です。本講演会ではITMA ASIA & CITME 2018(上海)に参加される方々を講師として、国際見本市の報告を兼ね、繊維機械の最新動向について解説頂きます。世界の最新動向をつかむ絶好の機会と存じます。多数の方々のご参加をお待ちします。

期 日 2019年1月25日(金)

会 場 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

開会の挨拶(9.55～10.00)

- 日本繊維機械学会 繊維機械研究会委員長, 金沢大学教授 喜成年泰
- (1) 全般(10.00～10.40)
- 日本繊維機械学会 繊維機械研究会委員長, 金沢大学教授 喜成年泰
- (2) 合織機械(10.40～11.20)
- 紡糸巻取関係 TMT マシナリー(株)
- 加工機関係 TMT マシナリー(株)
- (3) 紡績機械(11.30～12.10)
- (株)豊田自動織機
- (4) 革新精紡機(12.10～12.30)
- 村田機械(株)
- (5) 自動ワインダー(12.30～12.50)
- 村田機械(株)
- (6) 織機(13.50～14.30)
- 津田駒工業(株)
- (7) 編機(14.30～15.10)
- (株)島精機製作所
- (8) 染色加工機械(15.20～16.00)
- (株)日阪製作所
- (9) インクジェット捺染機(16.00～16.40)
- コニカミノルタ(株)
- (10) ディスカッション(16.40～17.20)
- 講演を頂きました講師

閉会の挨拶(17.20～17.25)

- (11) 交流会(17.30～19.00)

共 催 繊維機械研究会

定 員 80名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員15,000円, 協賛学協会会員15,000円, 非会員25,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員3,000円(税別), 繊維機械研究会メンバー無料, 交流会別途5,000円程度

申 込 「講演会ITMA ASIA + CITME 2018(上海)視察報告」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

「テキスタイルカレッジ」のご案内

■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成8年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し、人材の育成に努めてまいりました。それから約20年が過ぎ、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方、繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました。

このような背景を鑑み、「テキスタイルカレッジ」の内容を昨年に見直しました。これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ、最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について、より体系的・系統的に学習できる講座です。

■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は、繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています。特に、繊維関連業務に就いて間もない方や、基礎的な知識について改めて学びなおしたい方、また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています。

そこで、2日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」、「糸」、「布」、「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました。

一方で、繊維関連業務に従事しながら、さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います。そのような既に実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど、受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました。

企業など各機関の計画的な人材育成、繊維および繊維機械に関する基礎的な知識の習得・再確認のために、「テキスタイルカレッジ」をご利用下さい。

「テキスタイルカレッジ」開講計画

分類	開 講 日	講 座 名	
入門	開催済	1. 「2日で学ぶせんいと布づくり」(2日)	
専 門 講 座	糸	開催済	1. 「天然繊維の糸づくり」(1日)
		開催済	2. 「化学繊維の糸づくり」(1日)
		12/4(火)	3. 「合成繊維(実用)」(1日)
	布	開催済	1. 「組物」(0.5日)
		開催済	2. 「織物」(1日)
		開催済	3. 「編物」(1日)
		開催済	4. 「不織布」(1日)
		開催済	5. 「染色加工」(1日)
		11/29(木), 30(金)	6. 「染色加工(実用)」(2日)
	製 品	2/1(金)	1. 「アパレル製品設計の基本」(1日)
		11/9(金)	2. 「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として-」(1日)
		11/21(水)	3. 「実習: 感性評価のための布特性」(1日)
		1/16(水)	4. 「資材用繊維製品」(1日)
		3/1(金)	5. 「繊維製品の品質管理と品質保証」(1日)

テキスタイルカレッジ

「繊維製品の感覚性能－アパレル製品を中心として－」

人の感覚という個人差が大きく漠然とした捉えどころのないもののように思うかもしれませんが、アパレル製品の着心地の良さには、見た目や触れた時の布の風合い・暑さ寒さのような温熱的快適性・動きやすさがかかわっており、これらはそれぞれ視覚や皮膚感覚である触知覚・温覚冷覚・圧覚と対応しています。これらの感覚を主観評価や生理量から捉え、布の材料特性と関連付けることで、着心地を客観的に数値で捉えることが可能です。

テキスタイルカレッジ「繊維製品の感覚性能－アパレル製品を中心として－」の講座では、このような繊維製品の感覚性能を評価するための手法の基礎について学びます。

まず着心地の数値化についての基本的な手法、そして人間の「触知覚」や「視覚」による布の風合い評価、アパレル製品の「衛生機能」および「運動機能」の側面からの着心地評価という観点から、その計測・評価方法を、事例を交えて基礎から解説します。

感覚性能は繊維製品だけでなく、生活の中で人が触れて用いられるものすべてに関わる性能です。繊維に関わる勉強をしている学生、アパレル製品に関連する業務を担当されている方々だけでなく、人の感覚や感性といったことに興味をお持ちの方など多くの方々のご参加をお待ちしております。

また、実際に計測してみたいという方は、テキスタイルカレッジ「実習：感性評価のための布特性」（12月8日開催）の受講も併せてご検討ください。

期 日 2018年11月9日(金) 10.00～17.00

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

(1) アパレル製品の「着心地」を数値化するには（10.00～11.30）

..... 信州大学 繊維学部 特任教授 西松 豊典

アパレル製品の感性品質（心地）を的確に捉えるために、主観および客観評価が必要になってきています。そこで、人間の視覚と触知覚機能、視覚や触知覚で「着心地」を評価するときに用いる官能検査方法、着心地に関連する生地の物理特性の計測・評価方法、着心地を評価しているときのヒトの生理的機能量の計測・評価方法、主観評価と客観評価結果との対応付けについて、研究成果を示しながら解説します。

(2) 風合い評価－触覚－（12.30～13.30）

..... 元金沢大学教授、カトーテック（株）技術顧問 松平 光男

布の風合い（触感）は、明治に入って英国から紳士服が日本に導入されて以来、テーラーや消費者から重要視され、風合いの良いスーツを着ることが消費者の夢であった。川端、丹羽教授らは、風合い判断が微小な荷重レベルでの初期力学特性に基づいていることを見だし、弊社と共同でKESシステムの設計、開発に成功した。日本繊維機械学会内に風合い計量と規格化研究委員会（略称 HESC）を組織し、基本風合い、総合風合いを定義し、KESシステムで得られる基本力学パラメータから布の風合い客観評価法の開発に成功した。今回は、その概略を解説します。

(3) 風合い評価－視覚－（13.40～14.40）

..... 信州大学 繊維学部 准教授 金井 博幸

視覚によって評価される布の風合い（視覚的風合い）は、最終テキスタイル製品の付加価値を向上させる要因の一つです。これまで、黒色織物の外観に関する研究については多くの報告がありますが、主観的評価法や物理的特性の計量法の標準化には至っていません。ここでは織物の視覚的風合いを主観的に評価する方法について紹介し、物理的性質との対応について検討した事例を紹介します。

(4) アパレル製品の衛生機能的着心地の評価（14.50～15.50）

..... 京都教育大学 教育学部 准教授 深沢太香子

一日の生活の中で、衣服を身に着けていない時間はどのくらいでしょうか？私達は、入浴時以外は殆どいつも衣服を身に纏っています。ですから、着用する衣服は、安全でかつ心地よいものであることが重要です。ここでは、衣服を気候適応のツールととらえ、衣服の温熱的な心地よさに関わる生理指標とその評価法、そして、心理的評価法について解説します。

(5) スポーツウェアの運動機能的着心地の評価～衣服圧計測からのアプローチ～ (16.00～17.00)

…………… (株)アシックス スポーツ工学研究所 アパレル機能研究部 部長 田川 武弘
 運動機能的着心地には、動きやすさや締め付け感が大きく影響します。動きやすさを阻害しない、また快適な締め付け感を、どのように測定し評価を行うかについて衣服圧計測からのアプローチを紹介し、併せて、それらの手法がスポーツウェア開発にどのように活かされているかの具体的な事例も紹介します。

共催 日本繊維機械学会信越支部, 繊維学会感覚と計測委員会

協賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 23,000円, 学生会員 3,000円, 学生非会員 5,000円 (税別)

申込 テキスタイルカレッジ繊維製品の感覚性能と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込ならびに申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

企画委員会

委員長	倉敷 哲生 (大阪大学)		
副委員長	杉山 研志 (TMT マシナリー)	東山 幸央 (兵庫県立工業技術センター)	
企画委員	青谷実知代 (神戸松蔭女子学院大学)	秋月 健司 (東レ)	稲富伸一郎 (東洋紡)
	内丸もと子 (M.U.PLANNIG)	小川 敦久 (クラレ)	奥野 智朗 (住江織物)
	梶原 幸治 (キョーワ)	勝間田晋治 (ポーケン品質評価機構)	黄 楚 (カトーテック)
	佐久間 淳 (京都工芸繊維大学)	佐藤 克成 (奈良女子大学)	滋野 治雄 (帝人)
	竹本由美子 (武庫川女子大学)	筒井久美子 (村田機械)	中根 幸治 (福井大学)
	西田 裕紀 (関西ファッション連合)	野田 博丈 (トヨタ紡織)	馬場武一郎 (日本毛織)
	林 久秋 (豊田自動織機)	廣澤 覚 (京都市産業技術研究所)	深沢太香子 (京都教育大学)
	藤井 智成 (津田駒工業)	堀場 洋輔 (信州大学)	松原 孝典 (産業技術短期大学)
	森 洋人 (アシックス)	森島 英暢 (倉敷紡績)	山田 博夫 (ユニチカトレーディング)
	山田由佳子 (大阪教育大学)		
アドバイザー	宇治 光洋 (ダイセン(繊維ニュース))	木村 照夫 (元京都工芸繊維大学)	武内 俊次 (京都工芸繊維大学)
	藤井 明彦 (繊維評価技術協議会)	松崎 健 (ミズノ)	松下 義弘 (京都工芸繊維大学)

テキスタイルカレッジ

「実習：感性評価のための布特性」

着心地を始めとする感性評価についての概説、布の触感に関わる風合いの客観評価に用いられる布の物理特性値の意味と KES-F の測定原理についての講義の後、少人数での実習を行います。実習では、KES-FB1～4 (auto system ではありません) を用いて布の力学的特性 (引張、せん断、曲げ、圧縮特性) と表面特性を、KES-F7 サーモラボを用いて熱移動特性 (最大熱流束 q_{max} 、熱コンダクタンス、熱損失) を測定します。

布の物理特性について学びたい、KES を所持しているので測定原理を復習したいというだけでなく、基本的な測定条件を知った上で衣料用の布だけでなく触感に関わる生活材料 (たとえば不織布、皮革類、紙、フィルム、その他硬い材料など) に応用したい、さまざまな条件設定について知りたいなど、これまでの事例を踏まえ、触感研究への応用に関するさまざまなご相談にも対応します。布の物理特性を勉強する機会がなかった方や感性評価に興味をお持ちの方を対象に、布の触感の客観評価の実際を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に触感評価にかかわる業務に携わっておられる方にも大いに役立つものと思います。関係各位多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2018 年 11 月 21 日 (水)

会 場 神戸大学国際人間科学部 鶴甲第 2 キャンパス (神戸市灘区鶴甲 3-11)

JR「六甲道」または阪急「六甲」下車の後、各駅北側のバス停より神戸市バス 36 系統 鶴甲団地行 神大人間発達環境学研究科前 下車。

講 義 13.00～14.30

- (1) 着心地に関わる評価の概説、布の力学特性・表面特性・熱水分移動特性の測定と風合いの客観評価
..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

実 習 14.30～16.30

- (2) 1) 布の曲げ特性、せん断特性、引張特性の測定
2) 布の圧縮特性、表面特性の測定
3) 布の熱移動特性 (最大熱流束 q_{max} 、熱コンダクタンス、熱損失) の測定
3 班に分かれ、ローテーションで実習を行います。
..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

まとめ 16.30～17.30

- (3) エクセルファイルを用いた風合い計算の解説および質疑応答 (ノートパソコンをご持参ください)
..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 15 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 10,000 円、非会員 18,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円 (税別)

申 込 テキスタイルカレッジ「実習：感性評価のための布特性」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス)、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にてお申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「染色加工（実用）」

テキスタイルカレッジ「染色加工」では、染色の基本的な考え方から天然繊維と合成繊維での染色加工技術に関する基本技術について「やさしく、わかりやすく」解説いたしました。「染色加工（実用）」では、繊維業界に長年携わってこられた方々に基礎講座を踏まえ繊維別に染色加工の応用技術に関して詳細に解説していただくだけでなく、高性能素材などの要素技術さらにはエコ対応・環境関連技術や安全性と法規制など現在の繊維業界が抱えている課題を「よりわかりやすく」解説していただきます。講義内容には、最近の技術の進歩や新たな染色加工技術へと展開についても触れていただいています。染色加工に携わっておられる方々のみならず、アパレル製品関連分野をはじめ環境関連技術分野をも含めた幅広い分野の方々を対象としていますので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2018年11月29日(木)、30日(金)

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

1日目【11月29日（木）】

(1) 染色助剤および機能加工剤（10.00～12.00）

..... 元日華化学、金崎技術士事務所 金崎 英夫
最近では健康志向を中心とした機能性加工が多く開発されているが、安全性、環境対策を重視する動きが急速に高まっている。そこで話題の機能性加工剤（非PFOA型撥水加工剤、抗ウイルス加工剤、防蚊加工剤、その他）の開発動向と安全性、業界動向について紹介します。

(2) セルロース系繊維の染色加工（13.00～15.00）

..... (株)東洋紡カンキョーテクノ 代表取締役社長 橋本 嘉顕
基礎講座を受け、それぞれの工程を深掘しつつ、「生産現場を意識した、留意点や問題解決の方向性を」と及び「繊維製品の調達を意識した、各工程の意義や品質問題を実現場のサンプルを通して」解説します。

(3) タンパク質系繊維の染色加工（15.15～17.15）

..... 元日本毛織、元日本羊毛産業協会 長澤 則夫
ウールに代表されるタンパク質系繊維の繊維構造は非常に複雑で、元々多くの機能を併せ持っています。それだけに、このタンパク質系繊維の繊維構造を知ったうえで、染色を始めとする付加価値加工を行う必要があります。またタンパク質系繊維は物理的にも化学的にもデリケートな繊維なので、加工条件の設定には特に配慮することが求められます。このようなタンパク質系繊維の染色・仕上加工の実際の注意点を重点として解説します。

2日目【11月30日（金）】

(4) 合成繊維の染色加工（10.00～12.00）

..... 元帝人、京都工芸繊維大学非常勤講師 嶋田幸二郎
合繊及びその複合織編物の機能性付与加工は、日本のテキスタイル加工の重要な要素技術で進化している。繊維メーカーにて技術開発してきた経験をもとに、最近発表されている多くの機能性付与技術について、染色および仕上加工の応用を重点にしてサンプルや動画などを利用してわかりやすく解説します。

(5) 捺染加工及び環境技術（CO₂削減を主に）（13.00～15.00）

..... 元日本染色協会、森本技術士事務所 森本 國宏
1) 個人的な嗜好や歴史的な伝統文化の表現の一つに着衣に花鳥や抽象的なデザインを施す技法に捺染（テキスタイルプリント）がある。繊維製品への捺染技術は数百年の歴史を持つ従来法と、十数年前から実用化され始めたインクジェット方式について、その技法と装置について解説します。
2) 染色加工産業は、繊維産業の中で突出した資源（エネルギー、化学薬品、水等）の大量消費産業である。一般には、企業形態は中小企業が多いため、その消費量については個々には余り注目を浴びていないが、全国的な規模、世界規模で俯瞰するとその消費量は膨大な物である。特に地球温暖化の原因とされている二酸化炭素排出量の削減は最重要課題である。品質や生産性を落とさずに化石燃料、電力消費量を減じる技術を中心に、今後予想される問題点についてもその解決策について共に議論する場としたい。

(6) 繊維製品の性能評価 (15.15~17.15)

..... 元 繊維評価技術協議会, 日本繊維機械学会フェロー 越智 清一
 我が国が得意とする各種機能性繊維の分類例, 機能性試験方法の JIS, ISO 標準化提案状況を紹介したあと「清潔」「安全・安心」「快適性」及び「イージーケア性」カテゴリー別の代表的な機能性について, その付与メカニズムと評価方法について解説します.

協賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 25,000 円, 協賛学協会員 25,000 円, 非会員 33,000 円, 学生会員 5,000 円, 学生非会員 7,000 円 (税別)

申込 「テキスタイルカレッジ染色加工 (実用)」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会 (無料) への参加有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい. 学会 HP より WEB 申込みができます.

申込先 日本繊維機械学会
 〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

染色加工研究委員会

委員長	上甲 恭平 (椋山女学園大学)		
運営委員	伊藤 博 (イトービーイーオフィス)	今田 邦彦 (今田技術士事務所)	上坂 貴宏 (京都市産業技術研究所)
	高橋 正志 (日阪製作所)	榎本 雅穂 (京都女子大学)	岡田 倫子 (滋賀県東部工業技術センター)
	奥林 里子 (京都工芸繊維大学)	越智 清一 (元繊維評価技術協議会)	改森 道信 (改森技術士事務所)
	金崎 英夫 (金崎技術士事務所)	桑原 里実 (和洋女子大学)	嶋田幸二郎 (嶋田技術士事務所)
	解野 誠司 (和歌山県工業技術センター)	長澤 則夫 (元日本羊毛産業協会)	橋本 嘉顕 (東洋紡カンキョーテクノ)
	廣垣 和正 (福井大学)	松原 孝典 (産業技術短期大学)	森本 國宏 (森本技術士事務所)
	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)	吉川 雅敏 (繊維評価技術協議会)	

テキスタイルカレッジ

「合成繊維（実用）」

合成繊維についての、合成・重合・紡糸（スーパー繊維を含む）、糸加工、製布、特化素材について、基礎から最新の技術までを体系的に習得できるようなプログラムを企画しました。これから繊維事業に携わる技術者にはひとつの分野の専門を有するだけでは不十分で、広い範囲の知識が求められます。本講座はこのようなニーズにも応えられるものと確信しています。講義にはできるだけ現物（サンプル）を提示するようにしています。多数の方々のご参加をお待ちします。

期 日 2018年12月4日(火) 10.00~17.30

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

10.00~11.00

(1) 化合繊維概論

種々の化学繊維の特性などを説明し、産業論にも少し触れます。

..... 山崎技術士事務所 代表、京都工芸繊維大学 非常勤講師 山崎 義一

11.10~12.40

(2) 合成繊維のモノマー、重合、ポリマー、化学改質

3大合繊とポリウレタンを対象としたモノマー、重合、ポリマー、化学改質について解説します。

..... 名古屋大学名誉教授、名古屋産業科学研究所 上席研究員 小長谷重次

13.40~15.00

(3) 繊維化プロセスと物性-構造と形態の制御-

紡糸工学の概要を説明し、特に複合紡糸を含む溶融紡糸の実際例を紡糸挙動、繊維構造、物性、形態制御などと関連づけて解説します。

..... 東京工業大学 物質理工学院 材料系 教授 鞠谷 雄士

15.10~16.20

(4) 合成繊維の高次加工-糸加工、製布

..... 元東レ、日本繊維技術士センター 執行役員 木村 俊彦

合成繊維フィラメントの高次加工としての仮撚、エア加工、撚糸および混織・複合を含む糸加工の目的、手法、効果、それを生かす製布の概要について説明します。

16.30~17.30

(5) スーパー繊維とその用途展開

..... 東洋紡(株) 総合研究所 コーポレート研究所 部長 寺本 喜彦

近年、スーパー繊維として脚光を浴びている有機系の高強度・高弾能率繊維を中心に、その基本から最近の用途開発事例について解説します。

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合、日本化学繊維協会

定 員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員 15,000円、協賛学協会員 15,000円、非会員 23,000円、学生会員 3,000円、学生非会員 5,000円（税別）

申 込 「テキスタイルカレッジ合成繊維（実用）」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「資材用繊維」

近年、化学繊維は自動車や建築・土木用途などの“産業資材”，そしてカーペットやオムツなどの“衛生・生活資材”といった「資材用繊維」としての利用割合が増大しています。その一方、それぞれの分野で新しい施工法や利用法が開発されるとともに、その用途に応じて要求される機能や性能も異なるため、資材用繊維素材の開発は高度化しています。また、資材用繊維製品の多様化、利用量の増大に伴い、使用後の回収や処理が課題とされるようになってきました。

そこで本講座では、産業資材用繊維に注目し、その種類や機能、性質、そして製法などの基礎について講義します。また、「自動車」「土木・建築」「水産」という産業資材の中核をなす分野については、それぞれの用途で求められる機能や性能について実例をもとに説明します。さらに、使用済み繊維の回収の仕組みやその処理技術についても講義します。多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2019年1月16日(水) 10.00～16.30

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

10.00～11.00

(1) 資材用繊維概論（分類／機能／性質／繊維形態・構造体／製法など）

..... 福井大学 学術研究院 工学系部門 教授 田上 秀一

11.10～12.10

(2) 資材用繊維の用途と機能

2-1 自動車分野

..... トヨタ紡織(株) 繊維開発部 山田 昌平

13.10～14.10

2-2 土木・建築分野

..... キョーワ(株) 開発・技術部 本部長 梶原 幸治

14.20～15.20

2-3 水産分野

..... ユニチカ(株) 産業繊維事業部 迫部 唯行

15.30～16.30

(3) 資材用繊維と環境（使用済み繊維の回収・廃棄等の現状、そしてリサイクルなどの技術について）

..... 繊維リサイクル技術研究会委員長、京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員15,000円、協賛学協会員15,000円、非会員23,000円、学生会員3,000円、学生非会員5,000円（税別）

申 込 「テキスタイルカレッジ資材用繊維」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「アパレル製品設計の基本」

最終製品としてのアパレルの製造とその性能、性能試験法、企画設計に関わる流行について学びます。

アパレルは、人のサイズや体型に合わせて作られ、着用時に必要な性能、耐久性を備えて製品として販売されます。その時代の流行にあわせて企画デザインすることも必要です。さらに現代の生活の中では、地球環境規模、有限の資源を前提として、生活する人間の健康を踏まえ、より豊かな、安全な、美しい外観の、快適な着心地が得られるアパレルを設計することが望まれています。

消費者には、その人にとって魅力的な着想を考え、適正な取り扱いをして長く着ていくとともにリサイクルと廃棄について最適なアパレルを選択することが望まれます。時代とともにアパレルに対する消費者の意識も変化していく中、アパレル製品を企画設計するうえで必要な知識を身につけると共に、これからの時代に求められる製品設計のための一助になると考えます。

基礎から解説いたしますので、材料展開をはかる営業の方、販売の方々もご聴講ください。

期 日 2019年2月1日(金) 10.00~17.00

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

10.00~10.30

(1) 概論

..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 教授 井上 真理
 1970年代、80年代のアパレル用布地と現在用いられている布地とを比較してみると随分様変わりしました。海外から価格の安い製品が多く入ってくる中、日本国内の生産現場の事情も大きく変化しています。そのような背景の下で、本テキスタイルカレッジの流れを概説します。

10.30~11.10

(2) 人体と衣料サイズ

..... 元(株)ダーバン, 相馬技術士事務所 相馬 成男
 アパレル企業が、身体にフィットした衣服を企画・設計して製造するためには、ターゲットとする人体の寸法と形のデータが必要です。また、消費者は衣服購入時にサイズを必ず確認します。ここでは、人体計測法とJIS衣料サイズシステムの基礎および現在検討が進められています衣料サイズ国際標準化の動きについて講義をします。

11.20~12.00

(3) パターンメイキング・グレーディングの基礎

..... 元(株)ダーバン, 相馬技術士事務所 相馬 成男
 デザイン画をもとに、アパレルの製品化させるために、パターンメイキングすなわち型紙の作成がなされます。原型の作成からデザインパターンへの展開、プロダクトパターンの作成について説明します。また、基準サイズからの他のサイズへの展開であるグレーディングについても説明します。

13.00~14.20

(4) アパレル製造工程

..... (株)レフトバンク 取締役 岡 卓之
 デフレ経済という時代の流れと共に、日本のアパレル業界は、生産の多くを海外シフトし、いつの間にか日本国内で生産現場に接する機会は激減してしまいました。現場を知る事は、商品としての付加価値を理解する為にも非常に大切な事です。あらためてアパレル製品の企画立案から物づくりの一連の流れを、時間軸をベースに説明します。

14.30~15.10

(5) 布の実用性能

..... (一財)カケンテストセンター 大阪事業所 繊維ラボ グループリーダー 森 秀樹
 アパレル製品を作成する時の基本として、生地選びの際の基本性能確認とも言える、染色堅ろう度試験や物性試験及び安全性確認としてのホルムアルデヒド試験、生地素材の混用率試験の簡単な説明と、代表的な機能性試験を説明します。

15.20～16.00

(6) 商品表示と品質保証（衣料品の事故事例）

..... (一財) ボーケン品質評価機構
 商品に付記する表示は、その商品情報を消費者に正確に伝えるために重要なもので、商品の顔と言っても過言ではありません。商品表示の種類と役割について簡単に説明します。また、より良いものづくりの参考に、実際に発生した衣料品の事故事例を紹介し、その原因について説明します。

16.00～17.00

(7) 流行の周期「人の感性がつくる流行の周期」

..... (株)感性リサーチ 研究員 手塚 祐基
 大好きだった去年の服が、今はもう着たくない。そんな気持ちになったことはないだろうか？実は、「良いもの」が永久に良いわけではない。好き嫌いの判断も変化してしまうのだ。ある周期で変化する人の感性について知ろう。◇流行はなぜ起こる？商品やブランドの寿命は？◇感性の変化を新商品開発や営業に活かすには？

参加費 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円（税別）

定員 30 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

申込 「テキスタイルカレッジアパレル製品設計の基本」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会
 〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル
 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

ジャーナル編集委員会	
委員長	保田 和則（愛媛大学）
編集委員	井上 真理（神戸大学）
	植松 英之（福井大学）
	金田 直人（福井工業高等専門学校）
	坂口 明男（信州大学）
	松岡 敏生（三重県工業研究所）
	安永 秀計（京都工芸繊維大学）
	山本 貴則（大阪産業技術研究所）
	與倉 弘子（滋賀大学）
	上田 博之（大阪信愛女学院短期大学）
	金井 博幸（信州大学）
小柴 孝（奈良工業高等専門学校）	
廣垣 和正（福井大学）	
向井 康人（名古屋大学）	
山下 義裕（大阪成蹊短期大学）	
山本 剛宏（大阪電気通信大学）	
横山 敦士（京都工芸繊維大学）	

テキスタイルカレッジ

「繊維製品の品質管理と品質保証」

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法、そして製品に影響する紡績・紡糸、編織工程での糸、布の品質欠点に関する講座を開催します。

基本的な生地の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケン品質評価センターから、機能性試験の内容と評価基準について元繊維評価技術協議会の越智様から、製品クレームの事象と対策例についてボーケン品質評価機構から解説していただきます。また、消費者に直接届く最終製品のみならず、紡織、織、編の各工程における糸、織物、編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について、村田機械(株)、元 TMT マシナリー(株)の中田様、津田駒工業(株)、尾張繊維技術センターから解説いただきます。技術分野の初心者の方々だけでなく、営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます。多数の方のご参加をお待ちしています。

期 日 2019年3月1日(金) 9.30～17.50

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容

9.30～10.30

(1) 生地の物性・堅牢度の一般的基準や試験方法の説明

……………(一財)ニッセンケン品質評価センター 大阪事業所 本町支所 支所長 中根 勲

10.40～11.40

(2) 機能性試験の内容と評価基準

……………元 繊維評価技術協議会, 日本繊維機械学会フェロー 越智 清一

11.50～12.50

(3) 製品クレームの事象と対策例

……………(一財)ボーケン品質評価機構

13.40～14.40

(4) 紡糸工程における品質欠点と最終製品への影響 溶融紡糸(長繊維生)製品の品質欠点について

……………元帝人, 元 TMT マシナリー, 中田西日本技術士事務所 代表 中田 賢一

14.50～15.50

(5) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響

……………村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守

16.00～16.50

(6) 織物工程における品質欠点と最終製品への影響

……………津田駒工業(株) 繊維機械技術部 部長 伴場 秀樹

17.00～17.50

(7) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響

……………あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 田中 利幸

協 賛 大阪染色協会

参加費 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

申 込 「テキスタイルカレッジ繊維製品の品質管理と品質保証」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

東海支部 第26回東海高分子基礎研修コース

期 日 2018年10月25日(木)～26日(金)

会 場 名古屋工業大学4号館1階ホール(名古屋市昭和区御器所町)

主 催 高分子学会東海支部

協 賛 日本繊維機械学会東海支部, 化学工学会東海支部, 色材協会中部支部, 自動車技術会中部支部, 繊維学会東海支部, 東海化学工業会, 日本化学会東海支部, 日本接着学会中部支部, 日本分析化学会中部支部, プラスチック成形加工学会, 有機合成化学協会東海支部

内 容 詳細は高分子学会HP(<http://main.spsj.or.jp/>)をご参照下さい。

東海支部 トレンドセミナー

期 日 2018年10月29日(木) 13.30～15.30

会 場 岐阜毛織会館 会議室(岐阜県羽島郡竹鼻町蜂尻448)

セミナー会場に隣接する「テキスタイルマテリアルセンター」も是非この機会にご覧ください。

ホームページ <<https://matesen.com>>

内 容

「トレンドセミナー2019 - 20年秋冬カラー & 素材傾向」

..... OFFICE KURUMAOFFICE 車 純子
カラー情報やシーズンの売れ筋などを踏まえて、国内外素材展状況はもちろん、ファッション業界を取り巻く様々な関連情報に触れながら幅広く、分かりやすく状況析を行います。

講師プロフィール

(株)東洋紡 FPIにて25年間東洋紡績の原糸開発・テキスタイルに従事。ウール・コットン・ポリエステルや様々な複合原糸などの開発携わる。その後フリーとして各産地素材開発、活性化プロモーション活動やJCやCBFなどのトレンド委員として、素材開発支援事業プロデュース。JAFCAなどのシーズンテキスタイルセミナーや、文化服装学院テキスタイル科講師など後進の育成を目指しながら、異業種とも交流中。

共 催 日本繊維機械学会東海支部, 岐阜県産業技術センター, 岐阜県繊維デザイン協会ほか

参加費 無料

申 込 企業名・機関名, 住所, TEL・FAX, 所属部課・役職, 氏名, 業種をご記入の上, FAXにて10月22日(月)までにお申し込み下さい。

問合せ・申込先 岐阜県繊維デザイン協会事務局(毛工)山田宛

TEL: 058-391-8511, FAX: 058-391-8512, E-mail: gikekou@estate.ocn.ne.jp

北陸支部 平成30年度日本繊維機械学会・繊維学会北陸支部 研究発表会

北陸支部では平成30年度の研究発表会を下記の要領で開催します。恒例の「北陸支部優秀発表賞」(若手発表者[平成30年4月1日現在で35歳以下]で審査希望のあった発表の中から優れた研究発表を選出する)の表彰も行います。なお、今年度も繊維学会北陸支部と共催することになりましたので、学会の枠にとらわれず多くの方々の参加をお待ちしております。

- 期 日** 2018年12月6日(木)
- 会 場** 金沢駅から徒歩10分圏内の施設(開催時刻や会場等の詳細は後日ご案内します)
- 問合せ先** 日本繊維機械学会 北陸支部事務局 担当: 若子倫菜
E-mail: linawakako@se.kanazawa-u.ac.jp
〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学理工研究域機械工学系

中国支部 平成30年度中国支部研究及び事例発表会

中国支部では日本繊維製品消費科学会中・四国支部と共催で、平成30年度研究及び事例発表会を開催します。多数の方々の発表をお待ちします。

- 期 日** 2018年12月7日(金) 13.30～
- 会 場** 岡山県立図書館 2F サークル活動室(岡山市丸の内2-6-30)
<http://www.libnet.pref.okayama.jp/>
- 問合せ先** 日本繊維機械学会中国支部事務担当, 倉敷市立短期大学服飾美術学科 道明伸幸
(〒711-0937 倉敷市児島稗田町160)
TEL.086-473-1859, FAX.086-473-1857, E-mail:michiaki@m.kurashiki-cu.ac.jp

東海支部 第32回若手繊維研究会

- 期 日** 2018年12月8日(土) 9.30～19.00(予定)
- 会 場** 金城学院大学 N1 棟 509 教室, 情報交換会 N1 棟 食堂(名古屋市守山区大森 2-1723)
名鉄瀬戸線大森金城学院前駅下車, 北へ徒歩5分
<http://www.kinjo-u.ac.jp/pc/contents/access.html>
- 共 催** 日本繊維機械学会東海支部, 繊維学会東海支部, 日本繊維製品消費科学会東海支部
- 内 容** 一般研究発表, 情報交換会
- 要旨原稿提出締切** 10月26日(金)
- 参加申込** 11月21日(水)までに, 氏名, 所属(学生は学年も), 連絡先(電話番号, E-mail アドレス)をご記入の上, E-mailにてお申込みください。
- 申込先** 東海学園大学スポーツ健康科学部 伊藤きよ子(〒470-0207 愛知県みよし市福谷町西ノ洞 21-233), E-mail: itoki@tokaigakuen-u.ac.jp, TEL: 0561-36-9406(直通)
- 参加費** 1,000円(発表者, 学生は無料), 情報交換会費 3,000円(学生は1,000円)

2019 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」公募

2019 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」の公募を行いますので、下記の要領により奮ってご応募下さい。

「技術賞」は繊維ならびに繊維機械に関する研究または技術開発のなかで、創意があり技術的に高い価値を有するものに対し贈賞するものです。受賞資格は本学会の会員であり、前述の業績を挙げた研究者、技術者個人またはおおむね 6 名以内のグループとします。また、原則として、5 年以内の技術を対象とします。

応募される方は、下記の提出書類を 2019 年 1 月 28 日(月) 必着で、下記の申込先宛送付下さい。

提出書類 次の書類を 2 部（正 1 部、副 1 部、副は複写も可）提出して下さい。

- (1) 技術賞応募用紙（所定の書式の用紙、学会 Web サイトからダウンロードするか、学会事務局までご請求下さい）
- (2) 応募業績に関する参考資料（参考資料例：特許、図面、新聞記事、納入実績リスト、カタログ、技術資料など）

選考方法

- (1) 一次選考（書類審査）により選抜された業績について、二次選考（現地調査）を行います。
- (2) 二次選考は、必要に応じて応募者の対象技術が実在し、稼働しているのか等の確認のため「現地調査ならびに口頭説明審査」を行います。

二次選考の実施時期につきましては、当該者へ後日連絡します。

その他 応募書類は選考の資料としてのみ使用し、選考終了後一定期間保管し安全に破棄します。

応募締切 2019 年 1 月 28 日(月) 17 時必着

申込先ならびに問い合わせ先 日本繊維機械学会 技術賞選考委員会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

参考資料 過去 3 カ年の「技術賞」受賞者一覧

・2016 年度受賞技術

「高性能 CFRP ソールの成形技術」

..... (株)アシックス 谷口 憲彦
..... 川重岐阜エンジニアリング(株) 日比野 茂
..... (株)アシックス 松尾 弘毅, 西脇 剛史

「競泳水着における機能性設計開発」

..... (株)ミズノ 田中 啓之, 島名 孝次

・2017 年度受賞技術

「柔らかか面ファスナーの開発」

..... 帝人(株) 田中 昭
..... 帝人フロンティア(株) 竹下 皇二
..... 帝人(株) 田中 謙吾

「次世代コンパクト POY 巻取設備の開発」

..... TMT マシナリー(株) 杉山 研志, 北山 太, 橋本 欣三

・2018 年度受賞技術

「環境に優しい高耐久防汚加工技術」

..... 東レ(株) 竹下 将太, 柄澤 留美, 小森 晋也, 大塚重津希, 竹田 恵司

「自動ワインダーにおけるサーボ制御を用いた高速トラバース機構」

..... 村田機械(株) 梅原 嘉人, 谷川 保伸, 牟田 勝文, 竝川 哲也

創立 70 周年記念 若手研究者・技術者育成事業 日本繊維機械学会「学術研究奨励賞」募集要項

1. 趣旨

本学術研究奨励賞は、日本繊維機械学会の創立 70 周年を記念して、繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究を行う若手研究者に対して授与し、繊維工学の発展に寄与する人材を育成することを目的としたものです。

2. 応募資格

2018 年 12 月 31 日において 45 歳以下の研究者・技術者

3. 研究テーマ

繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究

4. 応募の方法

所定の研究計画書ファイルを学会 HP からダウンロードして作成し、日本繊維機械学会事務局宛に提出してください。

5. 応募の締め切り

2019 年 2 月 4 日(月) 必着

6. 選考結果の発表

2019 年 5 月中旬までに、申請書を元に審査のうえ贈賞者を決定し、本人に書状にて通知します。

7. 表彰

2019 年 5 月 31 日(土)【年次大会 2 日目】に、学会賞授与式を開催します。
賞状ならびに副賞（奨学寄付金：1 件につき最大 50 万円）を授与します。

8. 研究成果の報告

所定期間内（原則三年以内）に報告書を提出し、日本繊維機械学会（以下本学会）年次大会で成果を発表すること。さらに、研究終了後所定の期間内（原則一年以内）に成果をまとめ、本学会の学術論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) に投稿すること。

なお、会社に帰属する研究成果の公表の可否と範囲については、受賞決定後に選考委員会と協議する。

9. 留意事項

- 1) 受賞時には本学会の会員であること。
- 2) 応募に際して本学会員の推薦を必要とする。
- 3) 企業の研究者が応募する場合は、あらかじめ所属する部局長の承諾を得ること。

2019 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」募集

2019 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」の募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

「学術賞」の贈賞についての受賞資格は、本学会の会員であり、Original Paper を多数発表した新進の研究者を対象とします。「多数」とは、JTE (Journal of Textile Engineering, 本学会論文集) に掲載された Original Paper が「5 編以上」とします。また、「新進の研究者」とは、年齢が当該年の前年の 12 月 31 日で、40 歳以下の者とします。応募される方は、下記の書類を添えて、2019 年 2 月 4 日(月) 必着にて、下記宛送付して下さい。

次の内容に明記された書類一部(様式は自由)

- 提出書類**
- (1) 氏名ならびに生年月日
 - (2) JTE に掲載された論文一覧(著者名全員、発行年、題目、巻号、初頁—終頁)
 - (3) 推薦書(自薦、他薦にかかわらず 400 字以内)

申込先 日本繊維機械学会 学術賞選考委員会
〒550-0004 大阪市西区鞆本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL: 06-6443-4691, FAX: 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」

2018 年 1 月より、日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」の原稿の種類を、以下の様に変更・新設しました。

旧	新
Original Paper	Original Paper
Note	Short Paper
Review	Review
新設	Technical Report

一般論文 (Original Paper) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して独創性・新規性のある未刊行の論文であり、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり 8 頁以内とする。

短報 (Short Paper) :

一般論文と同様に繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して未刊行の論文であり、萌芽的、断片的研究ではあるが信頼性が高く価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり 4 頁以内とする。

技術報告 (Technical Report) :

繊維または繊維機械に関連する技術に関する未刊行の報告で、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ており、繊維技術と繊維産業の発展に貢献する技術を公表することを重視したもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり 6 頁以内とする。

レビュー (Review) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学・技術に関する最近までの研究や開発動向、将来展望を、過去の論文や報告を数多く引用してまとめた未刊行のもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり 8 頁以内とする。

協賛行事 第6回繊維・高分子の染色・機能加工に関する 国際会議 ISDF2018

ISDF2018を開催する目的の一つは、繊維・高分子の染料・染色・機能加工および高性能・高機能繊維、複合材料を含む関連分野において、あらゆる観点から科学技術的な討論を深めることです。さらに、当該分野に関わる多くの研究者が国際的なネットワークを構築する手助けをすることも目的としております。本国際会議は、11件の招待講演と一般のポスター発表からなっており8名の著名な研究者・技術者が、カナダ、アメリカ合衆国、フランス、マレーシア、中国、韓国、台湾から来訪し、講演される予定です。是非とも本国際会議での研究発表をお考えいただくと共に、ご参加いただき、有意義な討論の輪にお加わり下さい。

期 日 2018年11月11日(日)～13日(火)

会 場 ウィンクあいち (愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38)

主 催 繊維・高分子機能加工第120委員会

共 催 日本学術振興会

協 賛 日本繊維機械学会, 日本染色協会, 日本化学繊維協会, 繊維学会, 日本繊維製品消費科学会

登録費 9月30日まで一般30,000円, 学生10,000円, 10月1日以降一般35,000円, 学生12,000円.

招待講演者

Po-Ju Lin (Taiwan Textile Research Institute, Taiwan)
 Miko Cakmak (Purdue University, USA)
 Meifang Zhu (Donghua University, China)
 Zainal Arifin Mohd Ishak (Universiti Sains Malaysia, Malaysia)
 Suong Van Hoa (Concordia University, Canada)
 Rakesh Vazirani (TÜV Rheinland, Hong Kong)
 Youn-Woo Lee (Seoul National University, Korea)
 Marc Frouin (BioSerenity, France)
 Hiroshi Moritomi (Gifu University, Japan)
 Yutaka Ohkoshi (Shinshu University, Japan)
 Akiyoshi Ohno (Ohno Inkjet Consulting, Japan)

ポスター発表の募集

8月31日までに、下記の内容を添えて、okubay@kit.ac.jpまでお申し込みください。

アブストラクトの書き方：題目、著者名、所属、連絡先の住所、電話番号、電子メールアドレス、200語程度のアブストラクトを英語にて作成してください。日本人の方は、日本語の連絡先等の住所もご記載下さい。なお、発表者が30歳未満の場合、ポスター賞の審査対象となりますので、併せてご連絡ください。アブストラクトを受けとりましたら、受理のご連絡をいたします。そのときに、プロシーディングスの作成方法についてご案内いたします。

その他 詳細は (<http://www.jsps120.org/>) を参照ください。

協賛行事 京都工芸繊維大学繊維科学センター 「第7回大阪地区講演会」

さまざまなモノが世界規模で生産と消費される時代において、その産業の代表的な1つが、我が国の基幹産業として一世紀以上に渡って重要な役割を果たしてきた繊維産業です。この産業では、より進展したグローバル化へ迅速に対応するため、繊維製品の開発と生産の形態を急速に変化させ、我が国においては極めて高度な技量を必要とする工程を選択的に維持・発展させてきました。この過程で構築され蓄積されてきた技術ネットワークは、今日まで我が国の産業基盤を築き上げてきた実績に加えて、これからも未来の発展に向けて重要な役割を果たし続けるものです。そこで第7回大阪地区講演会では、最新の本学メンバーによる研究成果の講演に加えて、繊維技術についての更に強固なネットワークを構築するために有益な見識を有する方々の講演を企画いたしました。その実績から高い即効性を期待できる内容のものばかりですので、ご興味ある皆様からの積極的なご参加をお待ちしております。

期 日 2018年11月6日(火) 13.30~16.40 (13.00 受付開始)

会 場 綿業会館本館7階大会場 (大阪市中央区備後町 2-5-8)

内 容 「繊維技術ネットワークによる近未来イノベーション」

開会の挨拶 (13.30~13.40) 京都工芸繊維大学長 森迫 清貴

京都工芸繊維大学の研究紹介 (13.40~14.25)

「電界紡糸法で作製した機能性ファイバとその応用」

..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 助教 石井 佑弥

「高機能化に向けたセルロースナノファイバーの表面改質方法」

..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 助教 清水美智子

「廃棄物から新素材は生まれるか？」

..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 准教授 青木 隆史

学術講演 (14.25~14.55)

「高輝度 X 線で見るバイオベースポリマー薄膜のナノ構造」

..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 佐々木 園

基調講演 (15.05~15.50)

「東洋紡の多角化の経緯～繊維で培った技術をベースにして～」

..... 東洋紡(株) 執行役員 研究開発企画管理部長 大田 康雄

基調講演 (15.50~16.35)

「海外繊維事業でイノベーションを起こす人材育成について」

..... 元 Managing Director of Toray Industries (Thailand) Co., Ltd 丁野 良助

閉会の辞 (16.35~16.40) 京都工芸繊維大学 繊維科学センター長 佐久間 淳

意見交換会 (17.00~本館1階会員食堂)

参加費 講演会無料, 意見交換会 3,000 円

定 員 150 名 (定員になり次第, 締め切らせていただきます)

締 切 10 月 22 日(月)

協 賛 繊維・未来塾 (日本繊維機械学会所属), 繊維学会関西支部, テキスタイル倶楽部, 日本繊維製品消費科学会, 日本繊維技術士センター, 関西ファッション連合, 京都市産業技術研究所

申 込 WEB で直接お申し込みいただくか, 参加申込書を FAX または E-mail でご送付ください。

申込・問合せ 京都工芸繊維大学 繊維科学センター 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1

TEL:075-724-7701, FAX:075-724-7705, E-mail: fiber@kit.ac.jp

参加申込アドレス http://research.jim.kit.ac.jp/nc/html/htdocs/?page_id=85

「京都工芸繊維大学研究推進課」または「繊維科学センター」で検索下さい。

協賛行事 第49回中部化学関係学協会支部連合秋季大会

- 期 日** 2018年11月3日(土), 4日(日)
- 会 場** 名古屋大学 (名古屋市千種区不老町)
- 主 催** 中部化学関係学協会支部連合協議会
- 内 容** 詳細は HP (<http://www.c-goudou.org/chukaren49/>) をご参照下さい.

協賛行事 第24回成形加工テキストセミナー

- 期 日** 2018年11月7日(水)
- 会 場** 工学院大学新宿キャンパス (東京都新宿区西新宿 1-24-2)
- 主 催** プラスチック成形加工学会
- 内 容** 詳細はプラスチック成形加工学会 HP (<https://www.jspp.or.jp/>) をご参照下さい.

協賛行事 第39回日本熱物性シンポジウム

- 期 日** 2018年11月13日(火)~15日(木)
- 会 場** 愛知県産業労働センターウインクあいち (名古屋市中村区名駅 4-4-38)
- 主 催** 日本熱物性学会
- 内 容** 詳細は日本熱物性学会 HP (<http://jstp-symp.org/symp2018/>) をご参照下さい.

協賛行事 第61回自動制御連合講演会

- 期 日** 2018年11月17日(土), 18日(日)
- 会 場** 南山大学名古屋キャンパス (名古屋市昭和区 山里町 18)
- 主 催** システム制御情報学会他
- 内 容** 詳細は HP (<https://rengo61.liscie.or.jp/>) をご参照下さい.

協賛行事 講習会「静電気の利用と制御」

- 期 日** 2018年12月11日(火)
- 会 場** 東北大学東京分室 (東京都千代田区サピアタワー 10階)
- 主 催** 静電気学会
- 内 容** 詳細は静電気学会 HP (<http://www.iesj.org/>) をご参照下さい.

お知らせ FMC12月度セミナー

FMC（ファッション素材センター）の12月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申込み下さい。

詳しくはFMCのホームページ（http://www.geocities.jp/fmc_webpage/）をご参照下さい。

期 日 2018年12月7日(金) 18.15～20.00

会 場 大阪産業創造館 6F 会議室 E（大阪府中央区本町1-4-5）

内 容 2019 - 20 A/Wに向けた素材予測

2019 - 20 A/Wは二極化から多様性、持続可能へと変化する。モードと機能は融合し、ナチュラルは無造作でかつ洗練されたものに、スポーツとハイファッションは一体化し日常性を帯びてくる。作り手と着る人の意識が近づいて新しい加工や機能性のもと素材に新しい美意識が生まれている。もの作りと市場の距離が少しずつ縮まり、新発見にチャレンジするシーズンになるであろう。

講 師 (株)ミックプランニング代表、ファッションマーケティング&テキスタイルディレクター 北川美智子

参加費 ビジター会員 2,000円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年12回のセミナー（10月は見学会）に無料で参加できます。年会費12,000円でどなたでも会員になれます。]

申 込 「FMC12月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話またはFAX番号をご記入の上、11月30日（金）までにE-mailにてお申し込み下さい。

申込先 武庫川女子大学短期大学部 生活造形学科内 FMC事務局
E-mail: fmc.office.mail@gmail.com

お知らせ 第41回2019年度 (公財)石本記念デサントスポーツ科学振興財団学術研究募集

スポーツ関連科学に関する学術的研究を奨励・援助し、健全な体育・スポーツの振興・発展に寄与するため、2019年度スポーツ科学学術研究公募を下記の要領にて実施いたします。多数ご応募頂きますようお願い申し上げます。

主 催 (公財)石本記念デサントスポーツ科学振興財団

応募資格 ①体育学、健康科学、人間工学、被服科学、運動施設工学等健康の増進と体力の向上に関わる学術、およびその他スポーツ振興に寄与する学術研究に関する講座を持った大学、およびこれに準ずる研究機関に所属する個人またはグループ。

②高校生から幼児までの教育機関に奉職しており、①に前述した分野で研究または調査活動を積極的に行っている個人またはグループ。

この場合、運動生理学的研究でなくとも、あくまで教育現場に於ける身近なテーマで、すぐにも役立つ研究テーマを求めている。

但し、研究報告等に不慣れな人は、報告書作成に習熟した人を共同研究者に加えて申請のこと。

学術研究テーマ 自由課題学術研究

本財団の主旨に添ったものであり、申請者がこれまで行って来た研究を助成することによって、調査・研究の発展・充実が期待されるものであること。

応募締切 2018年11月9日

応募方法 応募者は、所定の申請用紙に研究テーマ、目的、内容および期待される成果等を簡潔に書き、2018年11月9日（当日消印有効）までに書面にて提出すること。

その他 詳細は石本記念デサントスポーツ科学振興財団HP（<http://www.descente.co.jp/ishimoto/>）をご参照下さい。

(一社) 日本繊維機械学会 会費減免規程

(目 的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本繊維機械学会会費規程第2条第2項に基づき、一般社団法人日本繊維機械学会（以下「本会」という）の組織強化のために、正会員の会費年額の減免措置について定める。

(定 義)

第2条 この規程における「従業員」の定義は、下記に定めるところによる。
「従業員」とは、正規、非正規関係なく企業・団体と直接雇用契約を結び、業務に従事する者をいう。

(年会費の減免)

第3条 本会の正会員の会費年額が8,000円であることは、会費規程第2条に明記されているが、以下のいずれかに該当する者については、本人からの申請により下記の減免措置を受けることができる。

- 1 ゴールド割引：本会の賛助会員または維持会員の従業員が本会の正会員となるとき、あるいは本会の正会員が賛助会員または維持会員の従業員である場合は、会費年額を2,000円とすることができる。但し、この減免措置を受けることのできる正会員数は、賛助会員1口につき10名、維持会員1口につき30名を上限とする。
- 2 シルバー割引：本会の正会員、あるいは賛助会員または維持会員の従業員で満65歳を越え且つ下記の在籍年数が5年以上ある場合には、会費年額を2,000円とすることができる。
 - ①本会の正会員としての在籍年数
 - ②賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数
 - ③上記①、②を合算した在籍年数
- 3 ブロンズ割引：本会に正会員として初めて入会したときは、1年間の会費年額を4,000円とすることができる。但し、年度の途中において入会した場合は、会員になった初年度の会費及び翌年度の会費について適用する。

(最低額の会費年額の適用)

第4条 本会の正会員が前条の2つ以上の事項に該当した場合は、その内最も低額の会費年額が適用される。

(減免の時期)

第5条 年度途中で第2条の減免理由が発生した場合においても、会費規程第3条の「前納」の原則は優先されるものとする。また、すでに納入された会費は返還しない。

(改 廃)

第6条 この規程は、理事会の決議によって変更することができる。

(附 則)

この規定は平成29年11月11日より施行する。

情報化委員会

委員長	武内 俊次（京都工芸繊維大学）
委員	保田 和則（愛媛大学） 山下 義裕（大阪成蹊短期大学） 横山 敦士（京都工芸繊維大学）

【現状の会費規定】

会員種別	資格	会費
1. 名誉会員	個人	無料
2. 正会員	個人	8,000 円
3. 学生会員	在学中の学生	2,000 円
4. 賛助会員	団体、個人	95,000 円
5. 維持会員	団体、個人	280,000 円

【新しい会費減免規定（平成 30 年度年会費より適用）】

会員種別	資格	減免種別	年会費	減免資格内容
1. 名誉会員	個人	-	無料	-
2. 正会員	個人	-	8,000 円	-
		ゴールド割引	2,000 円	維持会員あるいは賛助会員の従業員が本会の正会員である場合
		シルバー割引	2,000 円	満 65 歳以上の正会員で下記の在籍年数が 5 年以上である場合 ① 本会の正会員としての在籍年数 ② 賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数 ③ 上記①、②を合算した在籍年数
		ブロンズ割引	4,000 円	本会に初めて正会員として入会した場合（年度途中で入会の場合は翌年にも適用）
3. 学生会員	在学中の学生	-	2,000 円	-
4. 賛助会員	団体、個人	-	95,000 円	-
5. 維持会員	団体、個人	-	280,000 円	-

【繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）】

塾長	松田 正夫（元大阪繊維リソースセンター社長）	
副塾長	近藤 健一（㈱おふいすけんいち代表取締役社長）	松尾 憲久（マツオインターナショナル㈱代表取締役社長）
	八代 芳明（東海染工㈱取締役会長）	山下 雅生（㈱エイガールズ取締役会長）
幹事	松下 義弘（京都工芸繊維大学 非常勤講師）	
運営委員	糸井 弘一（関西ファッション連合 戦略室 特命担当）	宇治 光洋（ダイセン㈱（繊維ニュース）編集グループ記者）
	臼谷旗世彦（大津毛織㈱代表取締役）	貝原 良治（カイハラ㈱代表取締役会長）
	北丸 豊（豊栄繊維㈱代表取締役社長）	桑名 紀夫（日本パーソナルカラー協会 顧問）
	高澤 史納（高澤織物㈱テキスタイルデザイナー）	高杉 哲朗（㈱ショーワ代表取締役社長）
	辰巳 雅美（辰巳織布㈱代表取締役社長）	山本 敏明（西染工㈱代表取締役）
	米倉 勝久（㈱タカラ代表取締役会長）	渡邊 利雄（渡辺パイル織物㈱代表取締役社長）

一般社団法人日本繊維機械学会 正会員 会費減免申請書

		申請日	年 月 日
(フリガナ) 会員氏名		生年月日	年 月 日
勤務先所在地	〒		
勤務先名称			
役職および 所属部課名			
電話			
E-mail			
自宅住所	〒		
連絡事項			
減免種別 (○印でかこむ)	ゴールド割引 ・ シルバー割引 ・ ブロンズ割引		
承認期日 (事務局記入)	年 月 日 印		